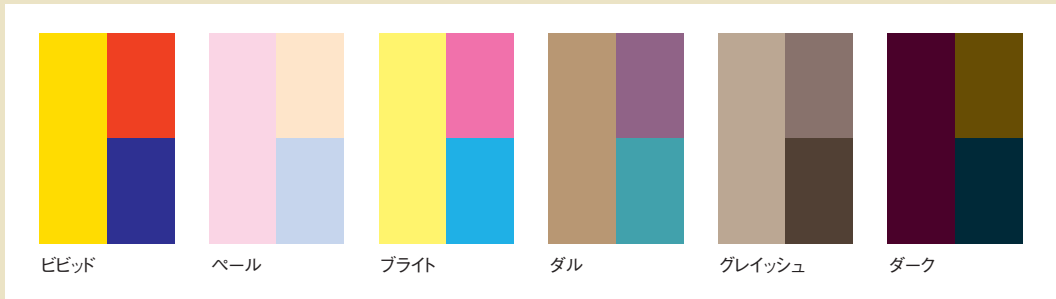


「トーン」と「統一感」が色選びのキーワード

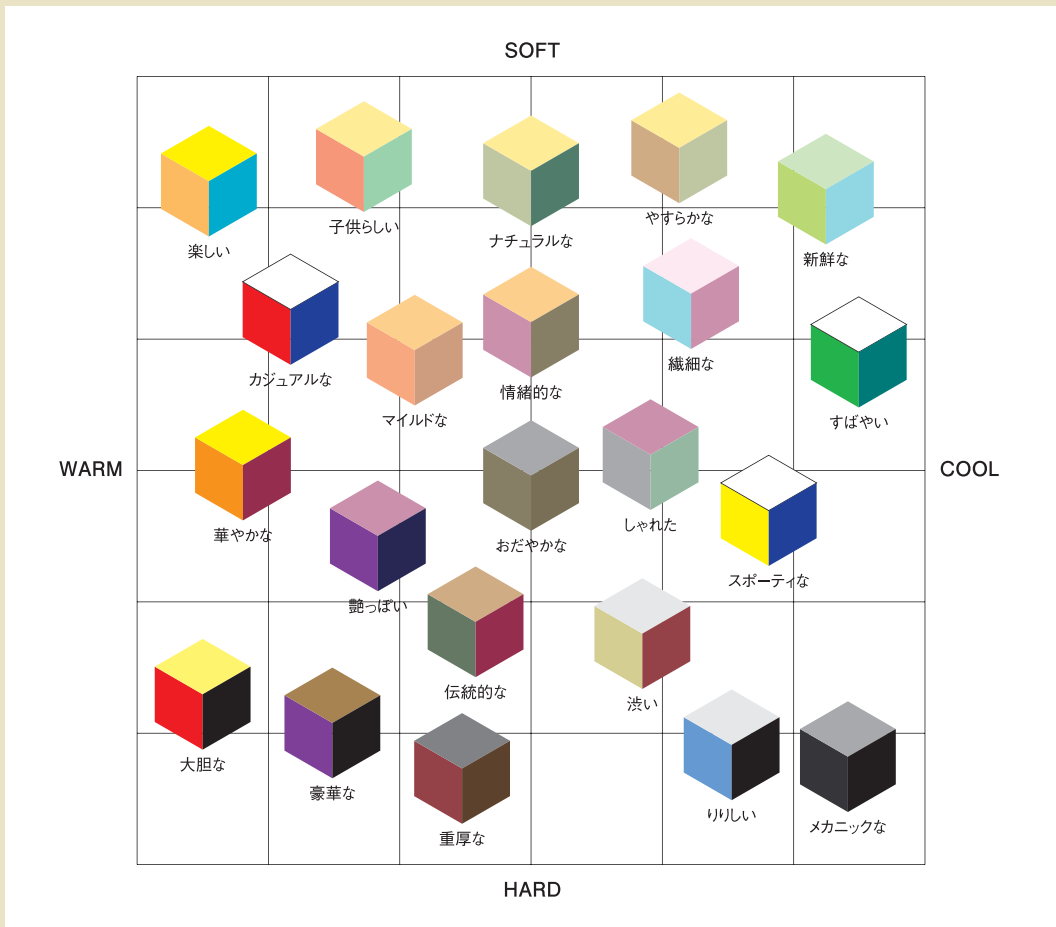
色の選び方で失敗するパターンの多くは、「ここは緑の文字」「この線は赤」と、部分的に色を選んでしまうことによって起きます。この失敗をなくするためには、まず全体の色味の「統一感」を考えなくてはなりません。明るい感じにしたいのか、重々しくしたいのか、爽やかなイメージにしたいのか、といった製作物に与えたい印象をあらかじめ決めるようにしましょう。そこでよく使われるのが、色を「トーン」で分類する方法です。同じ「トーン」の色味を選んおけば、統一感を持たせることが可能になっています。



代表的な「トーン」の分類例です。同じトーンから色を選んおけば、仕上がりのイメージを統一することができます。

色の組み合わせが作り出すイメージ

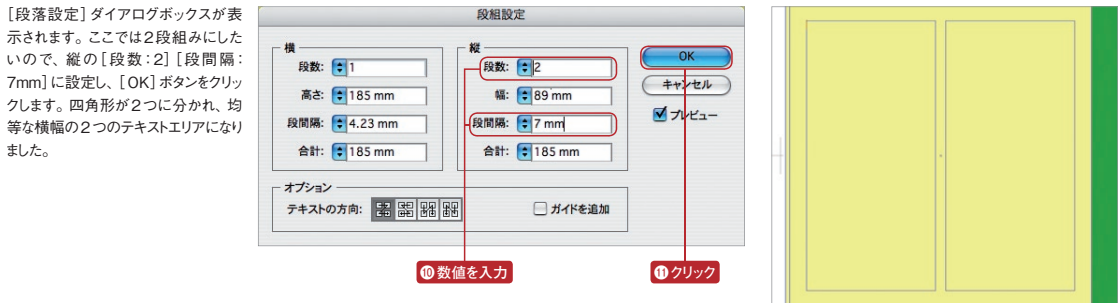
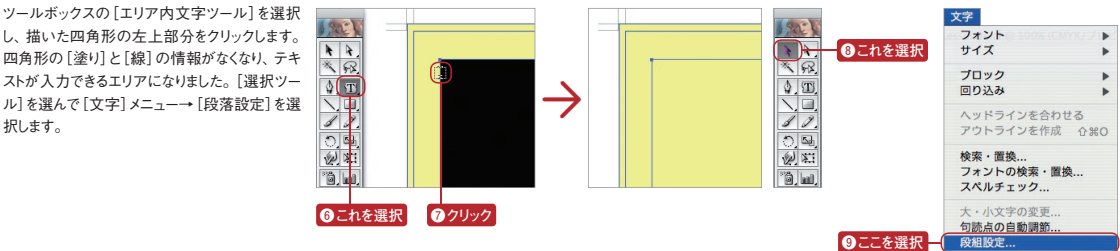
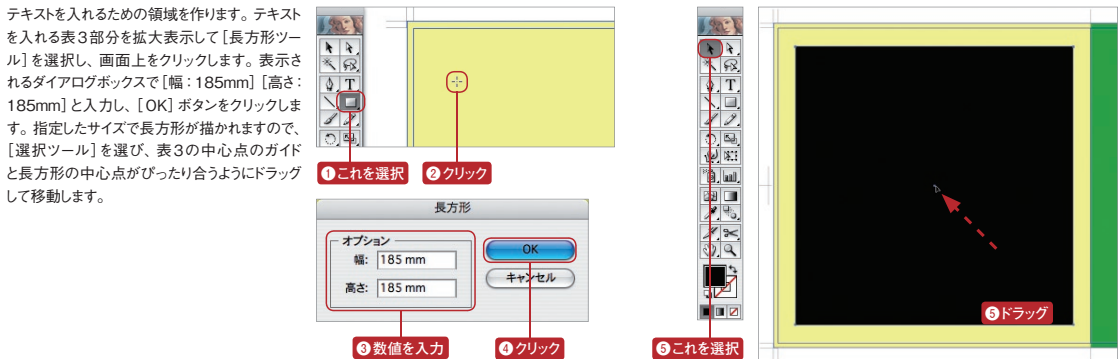
カラーセラピーという言葉があるように、色には人の感情に訴える力があります。特にいくつかの色を組み合わせることで、単独の色では出せないイメージを表現することが可能になるのです。代表的な色の組み合わせと、その色の組み合わせがもたらすイメージを図にしてみました。今回のパンフレットでは「ナチュラルカラー」をテーマにしますので、この中の「ナチュラルな」の組み合わせを使用します。



08 段組み設定でテキストを配置する

テキストファイルをIllustratorにレイアウトするには、画像と同じ「配置」を選択するか、テキストファイルを開いて、そこからコピー&ペーストするかのどちらかです。ここではパンフレットの表3に入れる原稿を、

「配置」コマンドを使って取り込んでみましょう。テキストを配置するためには、まず「テキストボックス」と呼ばれる領域を作っておく必要があります。



「ファイル」メニュー→「配置」を選択します。表示されるダイアログボックスで原稿のテキストファイル (Lesson04_text1) をクリックして選択し、「配置」ボタンをクリックします。さらに「テキスト読み込みオプション」が表示されますので、図のように設定して「OK」ボタンをクリックします。これで原稿のテキストファイルを取り込むことができました。

